

学校連携事業の活性化

金城 久枝¹⁾

Delivery lecture programs of the Okinawa Prefectural Museum

Hisae KINJO¹⁾

はじめに

県立博物館では、これまで、教育普及活動として大きく二つの事業に分け取り組んできた。一つめに、学校連携事業として、学校の計画する授業・行事等で博物館を活用する際の学習支援、博物館普及に関する各種刊行物作成、けんぱくキットの貸出(教育普及資料)などの取り組み。二つめに、博物館が企画運営する、文化講座、学芸員講座、展示解説会、体験学習教室、バックヤードツアー、夏休み!学芸員教室、ボランティア養成等のそれぞれの事業への取り組み。その他、離島や遠隔地での移動展を年1回開催し、沖縄県の自然、歴史、文化の広域普及に取り組んでいる。

学校連携事業における学習支援では、博物館を利用した学習形態として、博物館が提案する学習プログラム活用が多く、小学校3年社会科(民具体験学習)での来館利用は9割を超えるが、他学年、中学校、高等学校の博物館を利用する学習が少ない。

また、教師側が学校における授業で、博物館の資源を活用した授業展開がこれまで無かった。

背景として、煩雑な学校現場において、博物館の資料を活用したくても授業で利用できる資料を考える目的で博物館へ足を運ぶのは、時間的に制約がある。博物館の展示資料をどのように授業に生かせばよいのかわからない等が要因として考えられる。そこで、教育普及活動における学校連携事業の活性化を目指した取組みとして、専門の学芸員と連携した授業構築を試みた。

ここでは、今年度実施した出前授業等の取組みについて紹介する。

1 博物館「出前授業等」実施に向けて

専門の学芸員と連携した授業を構築することにより、博物館のもつ資源「もの、情報」が有効に活用できること、また、専門家の視点からの授業で児童生徒の学習内容への興味、関心の喚起、郷土沖縄への深い理解につなげる等を目指した。(資料1)

今回、県内公立学校(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)を対象に実施要項の作成に取り組んだ。実施要項の県内公立学校への発送業務に関しては、文化の杜教育普及に協力してもらった。



資料1-1

1) 沖縄県立博物館・美術館 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1.

Okinawa Prefectural Museum and Art Museum, Omoromachi 3-1-1, Naha City, Okinawa Prefecture 900-0006, Japan

出前授業等の申込み方法と連絡先

○申込み方法

希望日の2ヶ月前までに、
教育普及担当室へ電話で申し込む TEL 099-851-5401

↓

電話、メール等で期日や申込み内容の調整

↓

希望日の1ヶ月前までに、
出前授業依頼書または講師派遣依頼書を出す
(Fax、E-mailも可)

○連絡先

沖縄県立博物館・美術館
〒900-8006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
TEL 099-851-5401 FAX 099-941-3650
E-mail klpjbsc@pref.kinawa.lg.jp 教育普及担当：金澤久枝

※申込み等の開始からご希望の日時に応えない場合があります。あらかじめご了承ください。

資料1-2

学 芸 員 紹 介

所属	担当分野	氏 名
博 物 館	主 物	山崎 仁志
	造 字	仲里 健
	人 類	山崎 真治
	人 類	藤原 花南
館	書跡・彫刻・染織	眞部 隆 一子
	絵画・漆器・陶器	藤原 謙
研 究 室	近 現 代	岸本 弘人
	近世・西洋画	崎原 恭子
	書 道	片桐 千恵紀
	民 藝	大塚 ゆかり

○沖縄県の自然、歴史、文化をはじめ、上記内容について、学芸員が博物館のもつ資源（もの、情報）を活用し、児童・生徒の学習を支援します。

資料1-3

2 実施までの日程

- (1) 5月 実施要項作成
- (2) 6月 班会議にて提案、決定
- (3) 7月 文化の杜への依頼
- (4) 8月 県内公立学校へ実施要項発送
- (5) 8月下旬 「出前授業等」受付開始

3 出前授業等の受入と実践

- (1) 趣旨
博物館のもつ資源（もの、情報）を出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用する。
- (2) 内容
内容については、授業における講師派遣として「出前授業依頼書」による申込み、行事等における講師派遣として、「講師派遣依頼書」の2種類を設けた。

(資料2、3)

〈出前授業依頼〉

○授業では、ティーム・ティーチングの手法により、学芸員は教員と共同し、博物館資料を活用するなどして児童・生徒の学習を支援する。

資料2
出 前 授 業 依 頼 書

沖縄県立博物館・美術館長 殿

学校名
校 長 印

次の授業のため、講師の派遣をお願いします。

授業の種類	出前授業（校内・校外）
希望する講師	平成 年 月 日（曜日）
日 時	時 分 ～ 時 分（校時）
場 所	
学 年	第 学年
児童・生徒数	名
教科名・領域名	
単 元 名	
学習目標 (ねらい)	(1) (2) (3)
担当者	学校住所 〒 In Fax 担当教員名 () 連絡先(携帯電話等) ()
その他	ご質問等があればお書き下さい。

資料2

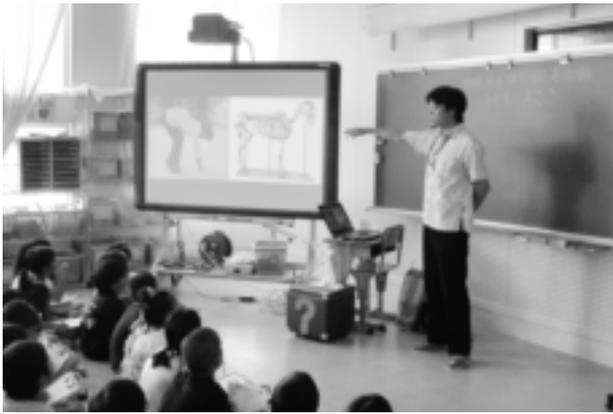


写真2 人間と動物の違いを比較



写真3 骨スーツを着用しホネの動きを考える

にまとめることができる。
 (3) 地震と火山の噴火による大地の変化の様子について、調べることができる。



写真4 琉球石灰岩の解説



写真5 岩石（実物）のスケッチ

○授業で活用した教材・教具

ウマの模型、人体骨格模型、スライド（PC）、骨スーツ

実践2

担当学芸員 仲里 健（地学）

平成25年11月13日（水）

2校時、3校時

出前授業 嘉手納小学校

担当教員 酒井圭治

学年 6年生 117名

教科名 理科

単元名 大地のつくりと変化

学習目標（ねらい）

- (1) 水や火山の働きでできた地層の特徴、堆積岩や化石、火成岩等について調べることが出来る。
- (2) 嘉手納小学校近くの地層観察を行い、水、火山のどちらの働きでできたかを観察し記録



写真6 岩石や化石に実際に触れる

○授業で活用した教材・教具

実物投影機、大型モニター、岩石標本、地質図、写真等

実践3

担当学芸員 山崎 仁也 (生物)

平成25年11月26日 (火)

中学校1～3年生：3、4校時

平成25年11月27日 (水)

小学校1・2年生：5校時

平成25年11月28日 (木)

小学校3～6年生：3校時

出前授業 渡名喜小学校

教科名 理科 「いきもの」



写真7 小学校1・2年生 授業の様子



写真8 小学校1・2年生 授業の様子



写真9 小学校3～6年生 授業の様子

○授業で活用した教材・教具

動物標本、蝶標本、ワークシート

PC、写真等

実践4

担当学芸員 仲里 健 (地学)

平成25年11月27日 (水)

中学校1～3年生：2校時

出前授業 渡名喜中学校

教科名 理科 「宇宙」



写真10 中学校1～3年生 授業の様子



写真11 中学校1～3年生 授業の様子



写真12 中学校1～3年生 授業の様子

○授業で活用した教材・教具

地球儀、木星儀、隕石、PC等

今回、渡名喜小中学校での出前授業実施は、教育普及事業の1つである離島や遠隔地での年1回開催の移動博物館の日程で取り組むことができた。

「講師派遣」

実践5

担当学芸員 山崎真治（人類）

平成25年7月11日（木）

講師派遣 沖縄県立向陽高等学校

担当教員 小林隆宏

教科名 社会科

学年 1年生 231名

行事名 地理歴史・公民科巡検 事前学習会

目的

- (1) 地歴公民科巡検にあたり、事前に講演を聞くことにより必要な知識を身に付け、本番の巡検をより有意義なものにする。
- (2) 講演を聞くことにより地域の史跡や歴史についての知識を身に付けることで、地域の歴史遺産についての関心を高める機会とする。

依頼内容

向陽高校周辺に存在する港川フィッシャー遺跡等の地域の遺跡を巡り、生徒に港川人が暮らしていた時代や生活に触れさせる場としたい。

事前学習会では、サキタリ洞遺跡発掘の第一人者である山崎さんに、港川人に関する基礎的な知識や最新の発掘成果と動向を講話して頂き、巡検に対する生徒の興味・関心を惹く場としたい。



写真13 港川人フィッシャー遺跡について解説



写真14 港川人の発見者大山盛保の軌跡について解説

実践6

担当学芸員 園原 謙（美術工芸）

担当教員 宮川忠人（那覇国際高等学校）

末長昭光（寄宮中学校）

平成25年10月23日（水）

午前：沖縄県立那覇国際高等学校 国際科1年生

午後：那覇市立寄宮中学校 3年生

異文化交流

JICA 草の根技術協力事業

沖縄・カンボジア「平和文化」創造の博物館づくり協力事業

授業の目的

- (1) カンボジアの位置と歴史文化の一端に触れる。
- (2) 世界遺産アンコールワット、カンボジア王国歴史文化の一端を学ぶ。
- (3) カンボジアの歴史悲劇を学ぶ。
- (4) アジアの仲間としての意識を持つ。
- (5) 「平和文化」創造拠点としての博物館の役割を学ぶ。



写真15 平和文化の拠点としての博物館について説明（那覇国際高校：国際科1年生）



写真16 英語によるカンボジアについての説明
(那覇国際高校：国際科1年生)



写真17 カンボジアの世界遺産について
(那覇市立寄宮中学校：3年生)



写真18 カンボジアの歴史について
(那覇市立寄宮中学校：3年生)

那覇国際高校、那覇市立寄宮中学校で行われた、JICA 草の根技術協力事業、沖縄・カンボジア「平和文化」創造の博物館づくり協力事業では、英語による説明（写真15、16）と、カンボジアの母国語クメール語による説明を、通訳を通しての解説（写真17、18）で行われた。

6 出前授業等アンケート

今後の事業の参考にするため、アンケートを実施した。
(資料4)

資料4

出前授業等アンケート

沖縄県立博物館・美術館

当館の出前授業等をご活用いただきありがとうございました。
今後の事業の参考にするため、アンケートへのご協力をお願いします。

1. 今回、出前授業等を依頼したきっかけは何ですか。
例 当館が教育普及事業の一環として、出前授業等を行っていることを知っていた。
研修会で、博物館について話しを聞き依頼した。など

2. 出前授業等を活用することによって、得られた効果は何ですか。あてはまるものをお選び下さい。(複数回答可)

(1) 学習内容への興味・関心の喚起
(2) 学習内容のより深い理解
(3) 教科書にない分野の知識理解の獲得
(4) 実物に触れることによる感性の育成
(5) 授業をとおり、新しい視点の獲得
(6) その他(具体的に)

3. 出前授業等実施に向けて、取り組みの評価。

	悪い	良い
(1) 事前の打ち合わせ	5-4-3-2-1	
(2) 用具や材料の準備	5-4-3-2-1	
(3) 学芸員の解説や演示	5-4-3-2-1	
(4) 総合評価	5-4-3-2-1	

4. 今後、出前授業等を活用する場合、実施したいとお考えの内容をお選び下さい。(複数回答可)

(1) 授業での活用
(2) 自然観察、野外活動での活用
(3) 総合的な学習等での活用
(4) 校内研修等での活用
(5) その他(具体的に)

5. 授業等を振り返って、率直な感想をお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

※お手数をおかけしますが、沖縄県立博物館・美術館まで FAX でお送り下さい。
FAX 098-941-3650 博物館班 教育普及担当：金城久枝

資料4

アンケートから

○出前授業等を活用することによって、得られた効果として

- (1) 学習内容への興味・関心が高まった。
- (2) 教科書にない分野の知識理解の獲得につながった。
- (3) 実物に触れることにより感性の育成につながった。
- (4) 授業をとおり、新たな視点から物事について考える切っ掛けとなった。

○今後、出前授業等を活用する場合、実施したいと考える内容として

- ・授業での活用
- ・自然観察、野外活動での活用
- ・総合的な学習等での活用

の回答があった。

また、異文化交流授業後の感想では、アジアの一員として言葉や文化に違いがあっても、平和について考え、共存できる社会にしていかなければならないなど授業後の感想が寄せられた。

おわりに

学校連携事業の活性化を目指し、今年度実施した「出前授業等」は、12月時点で6校での実践を実施することができた。

成果として専門の学芸員と連携した授業を構築することにより、授業において博物館のもつ資源「もの、情報」を有効に活用することができた。また、専門家の視点からの授業で児童生徒の学習内容への興味・関心の喚起、自分達の住んでいる地域や郷土沖縄への理解につながったと考える。

課題として、博物館が行っている学校連携事業の周知不足、博物館や教育普及事業に対して、学校や教員の関心や理解が希薄であることが上げられる。

これからの取り組みとして、教師向け研修プログラムを作成するなど博物館が行っている学校連携事業の広報活動を工夫・強化し、多くの学校関係者に、博物館を活用した授業等に取り組んでもらいたい。

今回の実践を参考に、次年度も引き続き「出前授業等」を実施していきたい。